

SeCulaシリーズ
セキュラ

IP ネットワークカメラ

取扱説明書

製品をご使用前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。

安全上のご注意

注意

- 内部部品のお客様による修理は行わないでください。障害が発生した場合は、速やかにサポート窓口にお問い合わせください。
- 誤った操作をしたり、衝撃的な振動や強い力を加えたりすると、製品が破損するおそれがあります。
- カメラ本体のお手入れには、洗剤を使用しないでください。必要に応じて、乾いている柔らかい布で汚れを拭いてください。
- カメラを太陽などの極端に明るいものに向けて使用すると、イメージセンサーが破損するおそれがあります。
- 温度、湿度、電源が制限された規定を超えている場合は操作しないでください。
- ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブなどの熱源に近づけないでください。
- エアコンの風が直接当たる場所に置かないでください。
- 本書は、本製品の使用および管理について説明しています。当社は、誤植、最新版との不整合、ソフトウェアのアップグレードや製品の改良、解釈、変更などの修正を行う場合があります。これらの変更は、特に通知することなく最新版に掲載されます。
- 本書に掲載されている写真、図表、画像は、当社製品の説明のためのものです。Microsoft、Apple、Google に関連する商標、ロゴ、その他の知的財産権は、上記の会社に帰属します。

免責条項

- インターネットに接続された製品については、お客様の責任においてご利用いただくことになります。当社は、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウィルス検査、その他のインターネットセキュリティ上のリスクに起因する異常動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について責任を負いませんが、必要に応じて適時技術サポートを行います。
- 監視に関する法律は、国によって異なります。本製品を監視目的で使用する場合は、事前にお住まいの地域の法律をご確認ください。違法な操作によって生じた結果については、当社は一切の責任を負いません。

日常のメンテナンスについて

弊社製品を長くご使用いただくために、カメラや周辺機器の日常的な定期メンテナンスを推奨しております。

IP カメラや録画機器本体、配線周り、IP カメラのドーム部分の傷や汚れは、映像異常や本体の動作不良にもつながるため、定期的な点検を実施くださいますようお願いいたします。

- カメラについて
カメラの設置箇所は定期的に点検することをおすすめします。
配線箇所は定期的に確認・清掃を実施してください。塵や埃が溜まった状態で湿気などが加わると通電しないなどのトラブルが生じる場合があります。経年変化によりコードにひび割れなどを発見した場合は使用を中止してください。また外的な要因(風雨の煽られによる屈曲やネズミによる咬害など)により、通電不良となる場合がありますのでご注意ください。
なお高所や危険を有する箇所の点検は、専門業者へ依頼することをおすすめします。
- ドームカバーおよびフロントガラス(表面)の清掃
塵、埃、くもの巣などがドームカバーやフロントガラス(表面)に付着した状態のまま放置すると、水分の乾燥などで、これらがこびりつくことがあります。汚れが付着した状態のままでは鮮明な映像を得ることができません。また、赤外線ライト(IR-LED)内蔵カメラについては、汚れの影響で映像が白っぽくなるなどの支障が出る場合があります。その場合、めがねクリーナー等のきめの細かい布で汚れを落としてください。なお、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。表面のコーティングが剥離する場合があります。

ガラスやカバーの表面を清掃しても症状が改善されない場合は、ガラスやカバー内部の付着が考えられます。経年使用により塵、埃、虫などが入り、ガラスやカバー内部に堆積して大切な映像を遮る場合があります。特にドーム（半球状）の透明カバーは、定期的に清掃をすることをおすすめします。

■ 録画機器について(NVR や NAS 等)

精密機器であるハードディスクは熱に弱いため、高温にならないようファンが搭載されているものがあります。ファンに塵や埃が付着すると機器が十分に冷却できず、故障の原因となる場合があります。また、溜まった塵や埃に湿気などが加わると発火の原因となるおそれがありますので、定期的なファンの清掃(埃等の除去)を行ってください。

■ AC アダプターについて

AC アダプターは、しっかりとコンセントに差し込んでください。中途半端に差し込むと、接触不良により発熱し、発火の原因となるおそれがあります。またコンセントの差し込み口は、定期的に確認・清掃を実施してください。塵や埃が溜まり、湿気などが加わると発火する場合があります。狭い箇所で電源タップをご使用になる場合、特にご注意ください。配置によっては無理な屈曲が作用し、被膜内のケーブルが断線する恐れがあります。場合によっては発火に至る可能性もあります。定期的に接続環境を確認し、安全に末永くご使用ください。

また、無理なタコ足配線にすると、定格電力を超過したり、AC アダプターの自重によってタップから外れたりする場合があります。スパーク現象など火花が発生し火災に至る危険があります。延長電源タップを使用する場合、使用器具の取扱説明書をよく読み、安全にご使用ください。

目次

1	IP カメラの WEB 設定.....	3
1.1	IP ツールを経由したアクセス	3
1.1.1	IP ツールのインストール	3
1.1.2	IP ツールを経由したアクセス	4
1.2	IE から直接アクセス.....	6
2	ライブ画面	7
3	ネットワークカメラの設定	9
3.1	システム設定.....	9
3.1.1	基本情報	9
3.1.2	日時	10
3.1.3	ローカル設定	10
3.1.4	ストレージ.....	10
3.2	画像設定.....	12
3.2.1	画質調整	12
3.2.2	映像/音声設定	14
3.2.3	OSD の設定.....	15
3.2.4	プライバシーマスク.....	16
3.2.5	ROI 設定	17
3.2.6	レンズコントロール[対象モデル:4MP/8MP]	18
3.3	アラーム設定.....	18
3.3.1	動体検知	18
3.3.2	その他のアラーム.....	20
3.3.3	アラーム入力[対象モデル:4MP/8MP]	21
3.3.4	アラーム出力[対象モデル:4MP/8MP]	22
3.3.5	アラームサーバー	22
3.4	ネットワーク設定.....	23
3.4.1	TCP/IP.....	23
3.4.2	ポート.....	24
3.4.3	サーバー設定	24
3.4.4	DDNS	25
3.4.5	RTSP	26
3.4.6	UPnP.....	27
3.4.7	E メール.....	27
3.4.8	FTP[対象モデル:4MP/8MP]	28
3.4.9	HTTPS[対象モデル:2MP/8MP].....	29
3.4.10	QoS.....	30
3.5	セキュリティ設定.....	31
3.5.1	ユーザー設定	31
3.5.2	オンラインユーザー	32
3.5.3	ブロックリストと許可リスト.....	33
3.5.4	セキュリティ管理[対象モデル:2MP/8MP].....	33
3.6	メンテナンス設定.....	34
3.6.1	バックアップと復元	34
3.6.2	再起動.....	35
3.6.3	アップグレード.....	35
3.6.4	操作ログ.....	36
4	検索.....	37

4.1	画像検索.....	37
4.2	録画検索.....	39
4.2.1	ローカルの録画検索.....	39
4.2.2	SD カードの録画検索	40
5	付録.....	42
5.1	トラブルシューティング.....	42
5.2	Microsoft Edge で利用する方法.....	44

1 IP カメラの WEB 設定

Secula IP カメラの WEB 設定画面を開きます。以下の 2 通りの方法で IP カメラに接続できます。

- ① IP ツールを経由したアクセス
- ② IE から直接アクセス

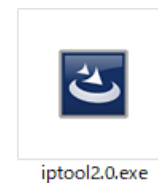
1.1 IP ツールを経由したアクセス

1.1.1 IP ツールのインストール

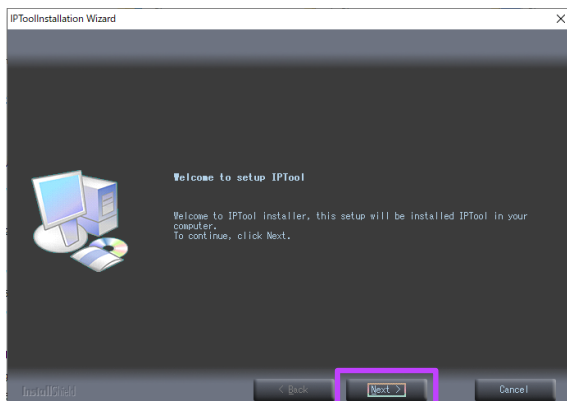
- 1) SolidCamera ホームページの[ダウンロード]→[Secula シリーズ]内の〈Secula 用ソフトウェア〉より、「IP ツール 2.0」をダウンロードします。



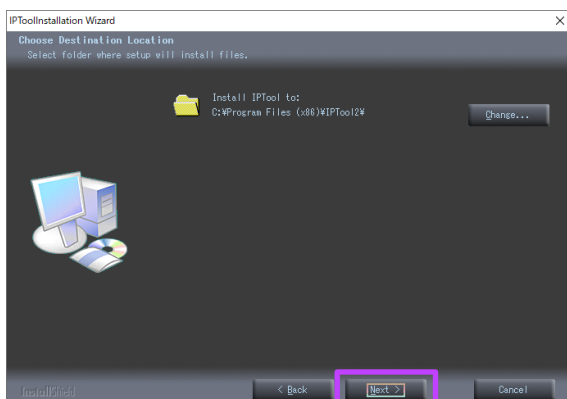
- 2) ダウンロードした[iptool2.0.exe]をクリックします。



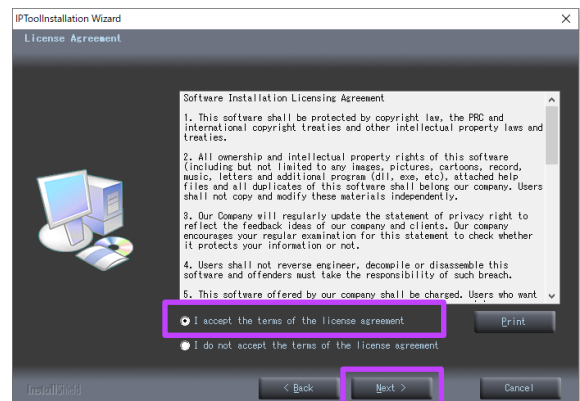
- 3) [Next]をクリックします。



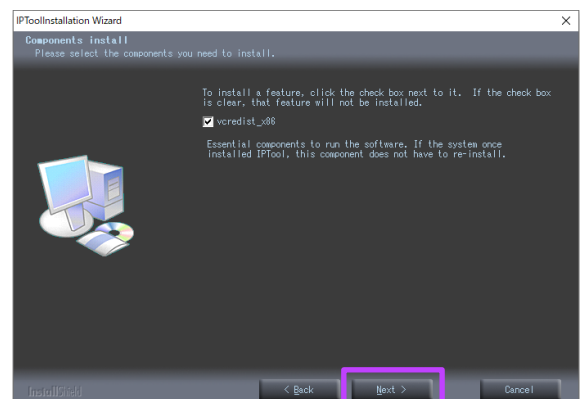
- 5) 保存先を選択し、[Next]をクリックします。



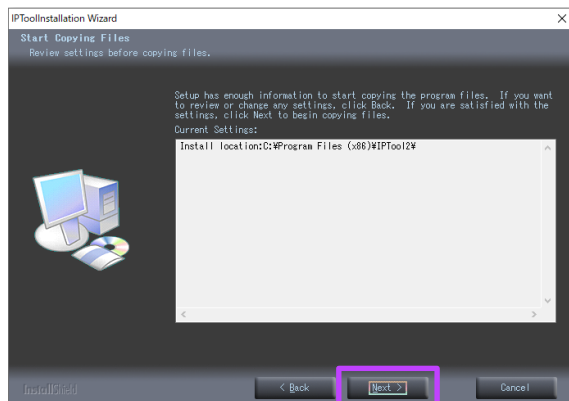
- 4) 上の項目(I accept the terms～)を選択し、[Next]をクリックします。



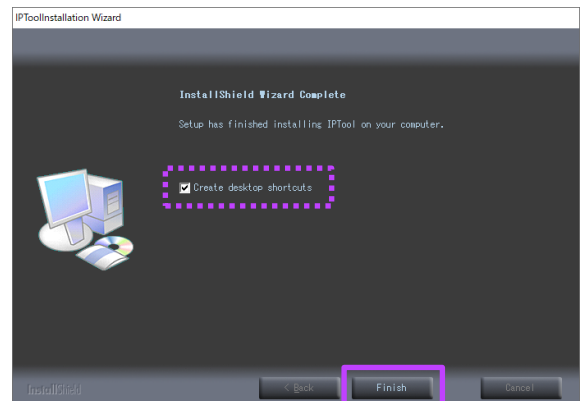
- 6) [Next]をクリックします。



7) [Next]をクリックします。

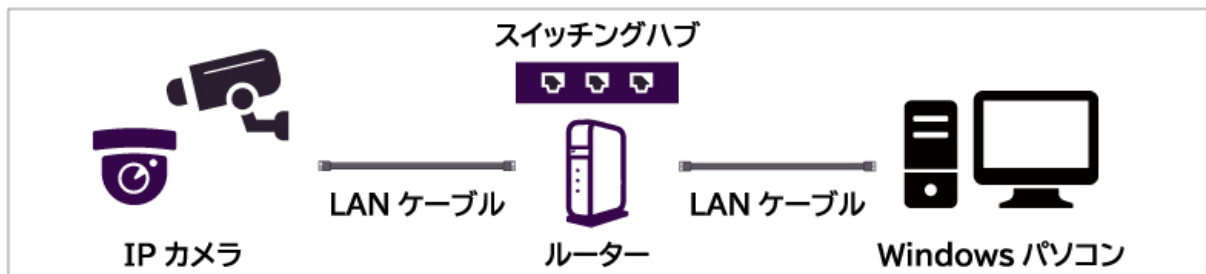


8) 必要に応じて[Create shortcut in desktop (デスクトップにショートカットを作成する)]にチェックを入れ、[Finish]をクリックします。

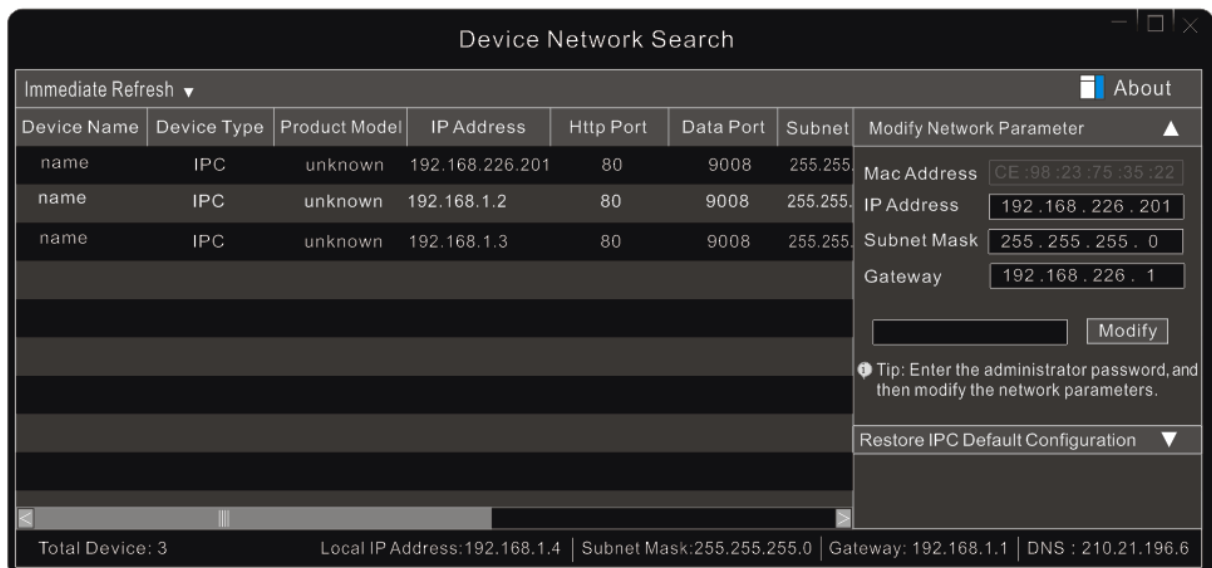


1.1.2 IP ツールを経由したアクセス

ネットワーク接続



- 1) IP ツールがインストールされている Windows パソコンと IP カメラが、LAN に接続されていることを確認します。
- 2) Windows パソコンで IP ツールのアイコンをダブルクリックします。「Device Network Search」が表示されます。



- 3) カメラの IP アドレスを変更します。
このカメラの IP アドレス初期値は
192.168.226.201 です。
- 4) リストに表示されているカメラをクリックして選択します。画面右にネットワーク情報が表示されます。
- 5) カメラの IP アドレスとゲートウェイを変更して、ネットワークアドレスが Windows パソコンと同じ LAN セグメントにあることを確認します。
カメラの IP アドレスは実際の状況に応じて変更してください。

たとえば、お使いの Windows パソコンの IP アドレスが 192.168.1.4 の場合、カメラの IP アドレスは 192.168.1.X に変更する必要があります。変更後、管理者のパスワードを入力し、[変更]をクリックして設定を変更してください。

管理者のパスワードの初期値〈123456〉

- 6) 画面左、リストのカメラをダブルクリックします。
IE ブラウザーが起動し、ログイン画面が表示されます。
(ActiveX を求められた場合は、指示にしたがって ActiveX コントロールを有効にします。)
- 7) 「名前」と「パスワード」を入力して、[ログイン]をクリックします。
- 8) 初期値のパスワード変更を求める画面が表示されます。セキュリティ強化のために初期値のパスワードを変更することを推奨します。
〈今後表示しない〉にチェックマークを入れて有効にすると、次回以降は表示されません。

1.2 IE から直接アクセス

初期のネットワーク設定は次の通りです。

IP アドレス:192.168.226.201
ゲートウェイ:192.168.2260.1
サブネットマスク:255.255.255.0

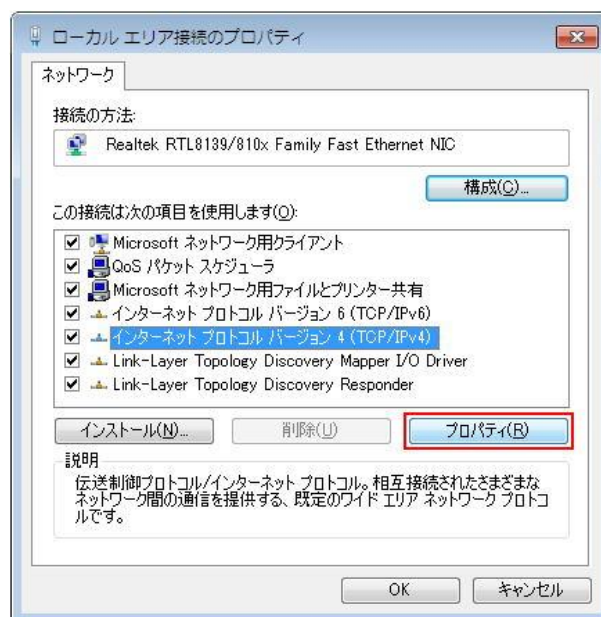
HTTP:80
データポート:9008

初めてカメラにログインするときに、上記のデフォルト設定を使用できます。LAN ケーブルを介してカメラを Windows パソコンに直接接続できます。

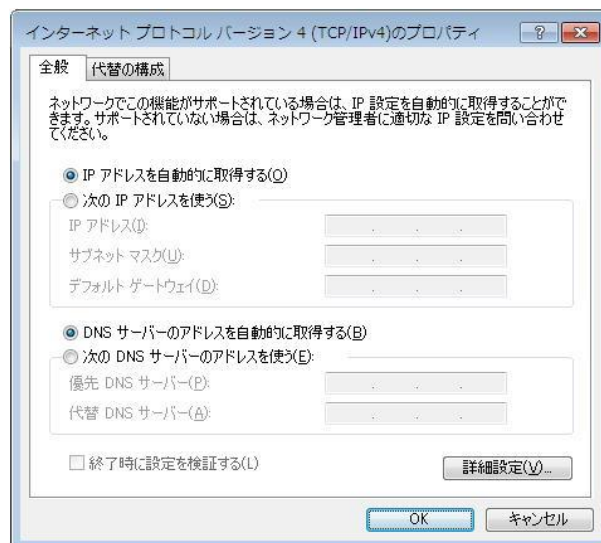


Windows パソコンの IP アドレスを手動で設定して、LAN セグメントを IP カメラの初期値と同じにします。

- 1) 「ネットワークと共有センター」の「ローカルエリア接続」をクリックします。
- 2) 実際の状況に応じてインターネットプロトコル(例: IPv4)を選択し、[プロパティ]をクリックします。



- 3) Windows パソコンの IP アドレスを設定します。
- 4) IE ブラウザーを起動し、アドレスバーにカメラの IP アドレスを入力して接続を確認します。
(ActiveX を求められた場合は、指示にしたがって ActiveX コントロールを有効にします。)
- 5) ログイン画面に「名前」と「パスワード」を入力して、[ログイン]をクリックします。



2 ライブ画面

IP ツールでカメラにログインすると、「ライブ」画面が表示されます。



● 「ライブ」画面下部のツールバーについて

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
	元のサイズ		画像拡大(ズームイン)		ライン交差インジケータ
	画面フィット		画像縮小(ズームアウト)		群衆密度インジケータ
	オート		PTZ コントロール		人数カウントインジケータ
	全画面表示		AZ コントロール(電動ズームレンズモデルのみ対応)		オブジェクトインジケータ
	ライブ表示停止		SD カード録画インジケータ		侵入インジケータ
	双方向音声開始/停止		色異常インジケータ		人々の侵入インジケータ
	音声 ON/OFF		明瞭異常インジケータ		センサーアラームインジケータ
	スナップショット撮影		シーン変更インジケータ		動体アラームインジケータ
	録画開始/停止				




アラームインジケータは、カメラで対応している各機能が有効である場合に、イベントが発生すると点滅します。
全画面の終了は、画面をダブルクリックするか、キーボードの[Esc]キーを押します。
AZ コントロールボタンをクリックすると、AZ コントロールパネルが表示されます。

● AZ コントロールパネルについて

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
	画像の縮小(ズームアウト)		焦点を近くに		ワンキーフォーカス
	画像の拡大(ズームイン)		焦点を遠くに		

このカメラは、RS485 を介して、対応する外部 PTZ 筐体に設置することができます。PTZ アイコンをクリックすると、PTZ コントロールパネルが表示されます(この機能は、RS485 インターフェースを備えたモデルでのみ使用できます)。コントロールパネルの説明は以下の通りです。

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
	クリックして、レンズを斜め左上に回転		クリックして、レンズを斜め右下に回転		オートスキャン
	クリックして、レンズを上回転		スクロールバーをドラッグして、ドームの回転速度を調整		ワイパー
	クリックして、レンズを左に回転		クリックしてライブ画像を縮小(ズームイン)		ライト
	クリックして、レンズを斜め左下に回転		クリックしてライブ画像を拡大(ズームアウト)		ランダムスキャン
	クリックして、レンズを下に回転		焦点を近くに		グループスキャン
	クリックして、レンズを斜め右上に回転		焦点を遠くに		プリセット
	クリックして、レンズの回転を停止		映像を暗く		
	クリックして、レンズを右に回転		映像を明るく		

プリセットを選択し、 をクリックしてプリセットを呼び出します。プリセットを選択して設定し、 をクリックしてプリセットの位置を保存します。削除するには、設定されたプリセットを選択し、 をクリックします。

3 ネットワークカメラの設定

画面上の[設定]をクリックして「設定」画面に移動します。



注意:

すべての設定では、各設定画面で[保存]をクリックして保存する必要があります。以下の設定手順では保存について省略します。また、接続したカメラにより表示される設定メニューの表記が異なります。

3.1 システム設定

3.1.1 基本情報

「基本情報」画面では、デバイスのシステム情報が確認できます。

- 1) 「設定」画面で[システム設定]→[基本情報]をクリックします。
「基本情報」画面が表示されます。

デバイス名	IPC
モデル名	SCL-04TE01
ブランド	IPC
ソフトウェアバージョン	5.0.1.0(6830)
ソフトウェア構築日	2020-04-13
カーネルバージョン	20190906
ハードウェアバージョン	1.4-1424321
Onvifバージョン	19.06
structuredVersion	1.1.7
faceDetectVersion	1.1.27
OCXバージョン	2.0.9.8
MAC	00:0f:3a:a1:d9:ab

3.1.2 日時

- 1) 「設定」画面で[システム設定]→[日付と時間]をクリックします。
「日付と時間」画面が表示されます。
- 2) 必要に応じて〈タイムゾーン〉を設定します。
- 3) [日時合わせ]タブをクリックして、〈日時調整モード〉を設定します。

タイムゾーン 日時合わせ

タイムゾーン GMT+09 (東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄)

☐ サマータイム

☒ 自動サマータイム

☐ 手動サマータイム

開始時間 1月 最初 日曜日 00 時間

終了時間 2月 最初 月曜日 00 時間

オフセット時間 120 分

タイムゾーン 日時合わせ

日時調整モード

☐ NTPサーバに同期

NTPサーバ: time.windows.com 更新間隔 1440 分

☐ パソコンの時間に同期

日付 2021-11-01 時間 14:44:16

☒ 手動で設定

日付 2021-11-01 時間 14:43:57

3.1.3 ローカル設定

- 1) 「設定」画面で[システム設定]→[ローカル設定]をクリックします。「ローカル設定」画面が表示されます。
- 2) 録画データとスナップショット(静止画)の保存先を設定します。
- 3) 必要に応じて、〈録画音声の設定〉、〈ビットレートを表示〉、〈ローカルスマート静止画保存ストレージ〉の有効/無効を設定します。

静止画保存のパス C:\Program Files\NetAIIPCamera 保存先変更

録画保存のパス C:\Program Files\NetAIIPCamera 保存先変更

録画音声の設定 ☐ ON ☒ OFF

ビットレートを表示 ☐ ON ☒ OFF

ローカルスマート静止画保存ストレージ ☐ ON ☒ OFF

3.1.4 ストレージ

この機能は、SD カードスロットを搭載したモデルでのみ使用可能です。

- 1) 「設定」画面で[システム設定]→[ストレージ]をクリックします。
「ストレージ」画面が表示されます。

管理 録画 写真撮影 ftpSnapshot

写真保存領域のサイズ 3042 MB

残りの写真保存容量 3042 MB

録画保存領域のサイズ 27329 MB

残りの録画容量 27328 MB

状態 正常

写真保存領域 10 %

録画保存領域 90 %

割り当て比率の変更を反映させる場合はフォーマットを実行してください。フォーマットすると記録されたデータは消去されます。

カード取り出し フォーマット

● SD カードの管理

SD カードを初めて使用する場合

- 1) [フォーマット]をクリックします。
SD カードがフォーマットされ、SD カード内のすべてのデータが消去されます。

SD カードを取り出す場合

- 1) [カード取り出し]をクリックします。
SD カードへのデータ書き込みが停止し、安全に取り出すことができます。

SD カードの記録容量比率の設定

- 1) 〈写真保存領域〉、〈録画保存領域〉で記録容量の比率を設定します。

写真保存領域	アラームで撮影されたスナップショット(静止画)の記録容量比率
録画保存領域	アラームで撮影された録画ファイルの記録容量比率

● スケジュール録画設定

- 1) 「設定」画面で[システム設定]→[ストレージ]→[録画]タブをクリックします。
「録画」画面が表示されます。
- 2) 〈録画ストリーム〉、〈プレ録画時間〉、〈上書きする〉を設定します。
プレ録画時間:動体検知などのアラーム録画が始まる前の映像を、何秒前から録画するかを設定します。
- 3) 〈スケジュール記録有効〉にチェックマークを入れ、スケジュール録画を設定します。

一週間の日程

アラームの監視時間のスケジュールを月曜日から日曜日まで一週間分設定します。

一日は一時間単位の設定になります。緑色のバーはスケジュール設定済みになります。空白のバーはスケジュール未設定になります。

追加	〈追加〉を選択し、タイムスケール上をドラッグして時間を設定します。
消去	〈消去〉を選択し、タイムスケール上の緑色のバーをドラッグして消去します。
手動入力	開始時刻と終了時刻を入力し、さらに細かい時間で設定します。

休日設定とスケジュール

休日など特定の日付でスケジュールを設定します。

注意:

休日設定のスケジュールは、一週間の日程スケジュールよりも優先されます。

● スナップショットの設定

- 1) 「設定」画面で[システム設定]→[ストレージ]
→[写真撮影]タブをクリックします。
「写真撮影」画面が表示されます。

- 2) 〈写真撮影パラメータ〉で、撮影するスナップシ
ョット画像の〈画像フォーマット〉、〈解像度〉、
〈画質〉を設定します。

イベント発生に連動	動体検知などのアラーム発生時に撮影するスナップショットの最大枚数と撮影時間の間隔を設定します。アラームの発生時間がスナップショット撮影時間より短いとスナップショットの撮影枚数が最大枚数より少なくなります。
設定された時間で実行	チェックマークを入れて有効にし、〈撮影時間間隔〉とスケジュールを設定します。スケジュールの設定手順は録画スケジュールの設定手順と同じです。詳細については、【3.1.4 ストレージ】のスケジュール録画設定をご参照ください。

3.2 画像設定

画像設定には画質調整、映像/音声、OSD、プライバシーマスク、および ROI 設定が含まれます。

3.2.1 画質調整

- 1) 「設定」画面で[画像設定]→[画質調整]→[カ
メラのパラメータ]をクリックします。カメラの
調整項目が表示されます。
- 2) カメラの〈輝度〉、〈コントラスト〉、〈色相〉など
を設定します。

主な設定項目

輝度	カメラ映像の明るさレベルを設定します。
コントラスト	明るい部分と暗い部分の差異を設定します。
色相	画像の全体的な色の度合いを設定します。
彩度(飽和度)	色の強さ、鮮やかさを設定します。彩度が高いほどより鮮明な画像になります。
WDR	映像内の明暗差が著しく大きい場合、明るい領域の輝度を下げ、暗い領域の輝度を上げることで、より良い画像が得られるようにカメラを調整することができます。 ※モードが non-WDR モードから WDR モードへの変更中、数秒間録画が停止します。
シャープネス	シャープネスを強くすると画像の輪郭を強調し、シャープに見えます。
ノイズ減少	ノイズを減らし、画像をより鮮明にします。値を大きくすると、ノイズ低減効果は向上しますが画像の解像度は低下します。
曇り鮮明化	霧、ほこり、スモッグ、雨の多い環境でこの機能を有効にし、必要に応じて適切な値を設定すると、鮮明な画像を取得できます。
逆光補正	[オフ]: 逆光補正機能を無効にします。初期状態ではオフに設定されています。 [HFR]: 画像の明るい部分の輝度を抑え、光量がかかった領域のサイズを小さくすることにより、全体の輝度を下げます。 [BLC]: 有効にすると、シーンに応じて自動露出が有効になり、最も暗い領域の画像の被写体をはっきりと見えるようになります。
フリッカー除去	[オフ]: アンチフリッカー機能を無効にします。この機能は主に屋外で使用されます。 [50Hz]: 50Hz の照明条件でのフリッカーを軽減します。 [60Hz]: 60Hz の照明条件でのフリッカーを軽減します。
IR 照明自動調光	この機能は、実際の状況に応じて IR ライトの明るさを制御することで、画像の白とびや黒つぶれを効果的に回避し、よりリアルな画像を実現します。必要に応じて有効にしてください。
ホワイトバランス	環境に応じて色温度を自動的に調整できます。
映像周波数	50Hz または 60Hz を選択できます。
昼/夜モード	必要に応じて「自動」または「手動」を選択できます。
コリドーパターン	ビデオ画像の方向を変更できます。0、90、180、270 が使用可能です。(デフォルト値は 0) この機能を使用する場合、ビデオ解像度は 1080P 以下である必要があります。
イメージミラー	現在のライブ映像を水平方向に回転したり、左右方向に反転したりします。
イメージフリップ	現在のライブ映像を上下方向に反転します。

● 「カメラのパラメータ」のスケジュール設定

- 1) 「画質調整」画面で[スケジュール選択]タブをクリックします。

- 2) 画質調整のスケジュールを設定します。
 〈スケジュール選択〉で「24 時間連続」を選択した場合は、〈撮影設定〉を選択します。
 〈スケジュール選択〉で「設定された時間で実行」を選択すると、時間設定のタイムスケールが表示されます。

- 3) タイムスケールで [] をドラッグして昼と夜の時間を設定します。
 青のバーは昼間の時間になります。空白のバーは夜間の時間になります。
 昼/夜モードが自動に設定されている場合は、スケジュールにしたがって昼と夜の設定が自動で切り替わります。

3.2.2 映像/音声設定

- 1) 「設定」画面で[画像設定]→[映像/音声]をクリックします。「映像/音声」画面が表示されます。
- 2) 必要に応じてビデオの〈解像度〉、〈フレームレート〉、〈ビットレート〉、〈ビデオ品質〉などを設定します。ビデオは3つのストリームが設定可能です。

Index	ストリーム	解像度	フレーム	ビットレート	ビットレート	ビデオ品質	フレーム間	ビデオ圧縮	プロファイル
1	第1スト...	2592x1520	30	VBR	3072	より高	60	H265	High Profile
2	第2スト...	704x480	30	VBR	512	より高	60	H265	High Profile
3	第3スト...	704x480	30	CBR	512	より高	60	H265	High Profile

写真のストリーム: 第2ストリー サイズ (704x480)

☐ ビデオエンコードスライス分割

☐ ウォーターマーク (H264, H265) ウォーターマーク文字:

- 3) [音声]タブをクリックします。
 〈有効〉にチェックマークを入れ、〈音声形式〉、
 〈音声タイプ〉などを設定します。

主な設定項目

解像度	解像度が高いほど、画像は鮮明になります。
フレームレート	フレームレートが高いほど、ビデオは滑らかになります。ただし、より多くのデータ容量が使用されます。
ビットレートタイプ	CBR または VBR を選択します。CBR は、ビデオリソースがどれほど変化しても、圧縮ビットレートが一定であることを意味します。これにより、一定のビットレートで画質が向上するだけでなく、記録容量の計算にも役立ちます。VBR は、ビデオリソースの変更に応じて圧縮ビットレートを調整できることを意味します。これにより、ネットワーク帯域幅を最適化できます。
ビットレート	実際のネットワーク状況に応じて選択してください。
ビデオ品質	VBR が選択されている場合、画質を選択する必要があります。選択した画像の品質が高いほど、より多くのビットレートが必要になります。
I フレーム間隔	「画像のグループ」間で許可されるフレーム数を決定します。ビデオで新しいシーンが開始されると、そのシーンが終了するまで、フレーム（または画像）のグループ全体を画像のグループとみなすことができます。シーンにあまり動きがない場合は、フレームレートよりも高い値を設定するのが適切であり、潜在的に帯域幅の使用量が少なくなります。ただし、値の設定が高すぎて、ビデオ内の動きの頻度が高い場合、フレームがスキップされるリスクがあります。
ビデオ圧縮	H.264 または H.265 を選択します。H.265 を選択した場合、NVR 等のクライアントシステムが H.265 をデコードできることを確認してください。
プロフィール	H.264 の場合、ベースラインまたはメイン/ハイプロファイルが選択できます。
スナップショットを送信	アラーム発生時に撮影するスナップショットの数
ビデオエンコードスライス分割	この機能を有効にすると、パフォーマンスの低い PC を使用していても、滑らかな画像を取得できます。
ウォーターマーク	チェックマークを入れ、表示する内容を設定します。検索画面での録画データ再生時にウォーターマークが表示される場合があります。
音声形式	G711A または G711U を選択します。
音声タイプ	MIC または LIN を選択します。

3.2.3 OSD の設定

- 1) 「設定」画面で[画像設定]→[OSD]をクリックします。「OSD」画面が表示されます。

- 2) 〈日付形式〉、〈デバイス名〉を設定します。
- 3) 〈追加 OSD〉にチェックマークを入れ、内容を設定します。
- 4) 表示された OSD をドラッグして位置を変更します。

● 画像のオーバーレイ設定

- 1) 〈画像のオーバーレイ設定〉にチェックマークを入れ、〈写真オーバーレイ〉を選択します。
- 2) [保存先変更]をクリックして、オーバーレイ画像を選択します。
- 3) [アップロード]をクリックして、オーバーレイ画像をアップロードします。

画像のピクセルが 200×200 を超えていないとアップロードできません。

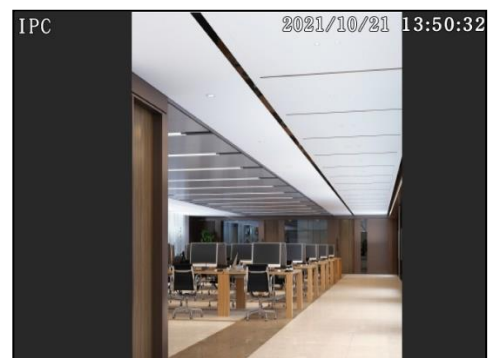
3.2.4 プライバシーマスク

- 1) 「設定」画面で[画像設定]→[プライバシーマスク]をクリックします。
「プライバシーマスク」画面が表示されます。



● プライバシーマスクの設定

- 1) 〈有効〉にチェックマークを入れます。
- 2) [エリアを描く]をクリックして、カメラ画像上をドラッグしエリアを描画します。
- 3) [保存]をクリックして、エリアの設定を終了します。



- プライバシーマスクの削除

- 1) 「プライバシーマスク」画面で[クリア]をクリックします。プライバシーマスクのエリアが消去されます。

3.2.5 ROI 設定

ROI (Region of Interest)

着目対象を範囲選択できます。選択箇所のみフレームレートや画質を高くして、それ以外の箇所はフレームレートや画質を落とし、効率良く録画を行うための機能です。



- ROI エリアの設定:

- 1) 「設定」画面で[画像設定]→[ROI]をクリックします。「ROI」画面が表示されます。
- 2) 〈有効〉にチェックマークを入れます。
- 3) [エリアを描く]をクリックして、カメラ画像上をドラッグしエリアを描画します。
- 4) 〈レベル〉のスライダーを動かすか〈レベル〉の入力欄に直接数値を入力して調節します。
- 5) [保存]をクリックして、エリアの設定を終了します。

- ROI エリアの削除

- 1) 「ROI」画面で[クリア]をクリックすると、ROI エリアが消去されます。

3.2.6 レンズコントロール[対象モデル:4MP/8MP]

この機能は、電動バリフォーカル機能があるモデルでのみ使用できます。

- 1) 「設定」画面で[画像設定]→[レンズの調整]をクリックします。「レンズの調整」画面が表示されます。
- 2) カメラ画像の、ズームとフォーカスを操作できます。
- 3) [One Push フォーカス]をクリックすると自動的にフォーカスを設定できます。



3.3 アラーム設定

3.3.1 動体検知

- 1) 「設定」画面で[アラーム設定]→[モーション検出]をクリックします。
「モーション検出」画面が表示されます。

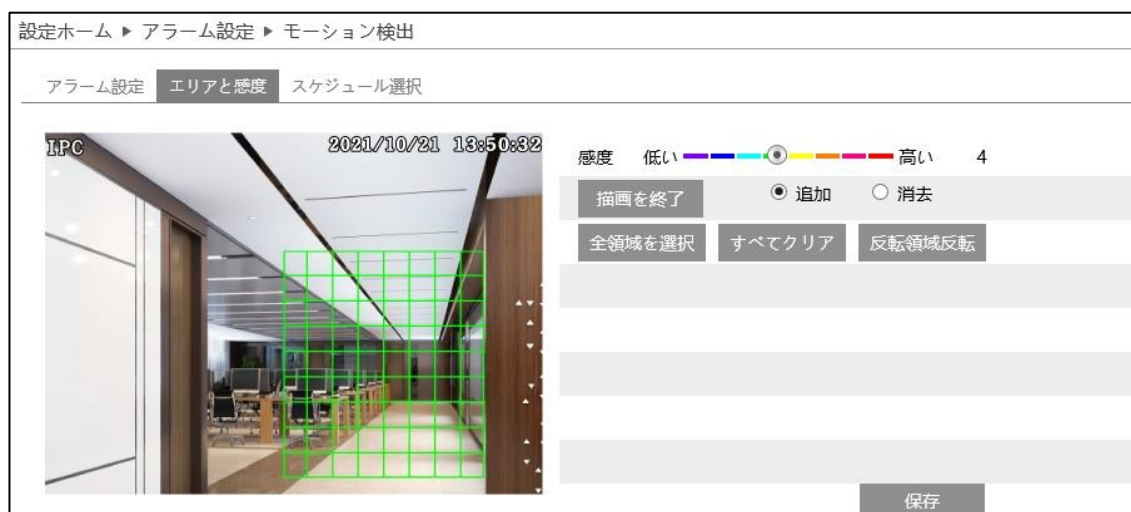
アラーム設定	エリアと感度	スケジュール選択
<input checked="" type="checkbox"/> 有効		
アラーム保持時間	20秒	▼
連携するアラーム出力		
<input type="checkbox"/> アラーム接点出力		
<input type="checkbox"/> 写真をSDカードに保存		
<input type="checkbox"/> SDカード録画		
<input type="checkbox"/> Eメールを送信		
<input type="checkbox"/> FTPファイル転送		

- 2) 〈有効〉にチェックマークを入れ、〈アラーム保持時間〉と〈連携するアラーム出力〉を設定します。

アラーム接点出力	動体(モーション)検知のアラームが発生すると、カメラに接続された外部リレー信号が出力されます。(※アラーム出力可能モデルのみ)
写真をSDカードに保存	アラーム発生時に撮影したスナップショットをSDカードに保存します。(SDカードスロットを備えたモデルのみ使用可能です)
SDカード録画	アラーム発生時に録画データをSDカードに保存します。(SDカードスロットを備えたモデルのみ使用可能です)
Eメールを送信	アラーム発生時に対象のメールアドレスにEメールを送信します。(「ネットワーク」のEmail設定でメールアドレスを設定する必要があります)
FTPファイル転送	アラーム発生時に撮影したスナップショットをFTPサーバーに転送します。(「ネットワーク」のFTP設定でFTPサーバーを設定する必要があります)
アラーム接点出力	動体(モーション)検知のアラームが発生すると、カメラに接続された外部リレー信号が出力されます。

● 動体検知エリアの設定

- 1) 「エリアと感度」タブをクリックします。「エリアと感度」画面が表示されます。



- 2) 「感度」のバーを動かして、感度を設定します。
- 3) 「追加」を選択します。
- 4) 「エリアを描く」をクリックして、カメラ画像上をドラッグしエリアを描画します。
「全領域を選択」をクリックすると、カメラ画像全体が動体検知エリアに設定されます。
「反転領域反転」をクリックすると、描画エリアが反転します。
- 5) 「描画を終了」をクリックして、エリアの設定を終了します。

● 動体検知エリアの削除

- 1) 「エリアと感度」画面で「すべてクリア」をクリックします。動体検知エリアが消去されます。

● 動体検知のスケジュール設定

動体検知のスケジュール設定手順は、録画スケジュールの設定手順と同じです。
詳細については、【3.1.4 ストレージ】の録画スケジュールをご参照ください。

3.3.2 その他のアラーム

● SD カードフル

この機能は、SD カードスロットを搭載したモデルでのみ使用できます。

- 1) 「設定」画面で[アラーム設定]→[異常]→[SD カードフル]タブをクリックします。
「SD カードフル」画面が表示されます。

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム保持時間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ Eメールを送信

☐ FTPファイル転送

- 2) 〈有効〉にチェックマークを入れ、〈アラーム保持時間〉を設定します。
- 3) 〈連携するアラーム出力〉を設定します。設定手順は動体検知と同じです。詳細については、【3.3.1 動体検知】をご参照ください。

● SD カードエラー

この機能は、SD カードスロットを搭載したモデルでのみ使用できます。

SD カードの書き込み中にエラーが発生すると、対応するアラームが出力されます。

- 1) 「設定」画面で[アラーム設定]→[異常]→[SD カードエラー]タブをクリックします。
「SD カードエラー」画面が表示されます。

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム保持時間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ Eメールを送信

☐ FTPファイル転送

- 2) 〈有効〉にチェックマークを入れ、〈アラーム保持時間〉を設定します。
- 3) 〈連携するアラーム出力〉を設定します。設定手順は動体検知と同じです。詳細については、【3.3.1 動体検知】をご参照ください。

● IP アドレスの競合

この機能は、アラーム出力インターフェースを備えたモデルでのみ使用できます。

- 1) 「設定」画面で[アラーム設定]→[異常]→[ip アドレスの競合が検出されました]タブをクリックします。
「ip アドレスの競合が検出されました」画面が表示されます。
- 2) 〈有効〉にチェックマークを入れ、〈アラーム保持時間〉を設定します。

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム保持時間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ Eメールを送信

☐ FTPファイル転送

- 3) 〈連携するアラーム出力〉を設定します。設定手順は動体検知と同じです。詳細については、【3.3.1 動体検知】をご参照ください。

● LAN ケーブル接続不良

この機能は、アラーム出力インターフェースを備えたモデルでのみ使用できます。

カメラ映像が切断されると、連携するアラームが出力されます。

- 1) 「設定」画面で[アラーム設定]→[異常]→
[LAN ケーブル接続不良]タブをクリックします。
「LAN ケーブル接続不良」画面が表示されます。
- 2) 〈有効〉にチェックマークを入れ、〈アラーム保持時間〉を設定します。

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム保持時間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

- 3) 〈連携するアラーム出力〉を設定します。設定手順は動体検知と同じです。詳細については、【3.3.1 動体検知】をご参照ください。

3.3.3 アラーム入力[対象モデル:4MP/8MP]

この機能は一部のモデルでのみ使用できます。

- 1) 「設定」画面で[アラーム設定]→[アラーム入力]をクリックします。
アラーム入力の「アラーム設定」画面が表示されます。

アラーム設定 スケジュール選択

☒ 有効

接点形式 N.O.

アラーム保持時間 30秒

センサー名

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ Eメールを送信

☐ FTPファイル転送

- 2) 〈有効〉にチェックマークを入れます。
- 3) 〈接点形式〉、〈アラーム保持時間〉、〈センサー名〉を設定します。
- 4) 〈連携するアラーム出力〉を設定します。設定手順は動体検知と同じです。詳細については、【3.3.1 動体検知】をご参照ください。

● アラーム入力のスケジュール設定

アラーム入力のスケジュール設定手順は、録画スケジュールの設定手順と同じです。

詳細については、【3.1.4 ストレージ】の録画スケジュールをご参照ください。

3.3.4 アラーム出力[対象モデル:4MP/8MP]

この機能は一部のモデルでのみ使用できます。

- 1) 「設定」画面で[アラーム設定]→[アラーム接点出力]をクリックします。
「アラーム接点出力」画面が表示されます。

アラーム出力モード	アラーム連動
アラーム出力名	alarmOut1
アラーム保持時間	30秒
接点形式	N.C.

- 2) 〈アラーム出力モード〉で、アラーム出力モードを選択します。
アラーム出力モードは、〈アラーム連動〉、〈手動操作〉、〈昼/夜の切り替えとの連動〉、〈設定された時間で実行〉から選択します。
〈アラーム連動〉は、〈アラーム出力名〉、〈アラーム保持時間〉、〈接点形式〉を設定します。
〈手動操作〉は、〈接点形式〉を設定します。〈手動操作〉の[ON]をクリックするとアラームが出力されます。[OFF]をクリックするとアラームが停止します。

アラーム出力モード	手動操作
接点形式	N.C.
手動操作	<input type="button" value="ON"/> <input type="button" value="OFF"/>

〈昼/夜の切り替えとの連動〉は、〈接点形式〉、〈昼間専用〉、〈夜〉を設定します。

アラーム出力モード	昼/夜の切り替えとの連動
接点形式	N.C.
昼間専用	OFF
夜	OFF

〈設定された時間で実行〉は、〈接点形式〉を設定します。〈追加〉を選択し、タイムスケール上をドラッグしてスケジュールを設定します。〈消去〉を選択して、タイムスケール上のスケジュールをドラッグし消去します。スケジュールを設定すると、指定した時間にアラームが出力されます。

アラーム出力モード	設定された時間で実行
接点形式	N.C.
時間範囲	<div>0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24</div> <div>05:45-11:00</div> <div>○ 消去 ● 追加</div> <div>手動入力</div>

3.3.5 アラームサーバー

アラームが発生すると、アラーム出力をアラームサーバーに転送します。

アラームサーバーが不要な場合は、設定の必要はありません。

- 1) 「設定」画面で[アラーム設定]→[アラームサーバー]をクリックします。
「アラームサーバー」画面が表示されます。

サーバアドレス	
ポート	0
ハートビート	無効にする
ハートビート間隔	30 秒

- 2) 〈サーバアドレス〉、〈ポート〉、〈ハートビート〉、〈ハートビート間隔〉を設定します。

3.4 ネットワーク設定

3.4.1 TCP/IP

- 1) 「設定」画面で[ネットワーク]→[TCP/IP]をクリックします。
「TCP/IP」画面が表示されます。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する			
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う			
IPアドレス	<input type="text" value="10.151.151.105"/>	<input type="button" value="テスト"/>	
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>		
ゲートウェイ	<input type="text" value="10.151.151.1"/>		
優先DNSサーバ	<input type="text" value="8.8.8.8"/>		
代替DNSサーバ	<input type="text" value="8.8.8.8"/>		

- 2) 〈自動的に IP アドレスを取得する〉または〈以下の IP アドレスを使う〉を選択します。

自動的に IP アドレスを取得する	IP アドレスを自動で取得します。
以下の IP アドレスを使う	手動で〈IP アドレス〉、〈サブネットマスク〉などを入力します。

- 3) [テスト]をクリックすると、IP アドレスの有効性をテストできます。

- 4) [IP 変更通知設定]をクリックします。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="checkbox"/> Eメールを送信			
<input type="checkbox"/> FTPファイル転送			

- 5) 必要に応じて IP 変更通知を設定します。

E メールを送信	IP アドレスが変更されると、指定されたメールアドレスに新しい IP アドレスが送信されます。
FTP ファイルを転送	IP アドレスが変更されると、指定された FTP サーバーに新しい IP アドレスが送信されます。

3.4.2 ポート

- 1) 「設定」画面で[ネットワーク]→[ポート]をクリックします。
「ポート」画面が表示されます。

HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
データポート	<input type="text" value="9008"/>
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>

- 2) 必要に応じて〈HTTP ポート〉、〈データポート〉、〈RTSP ポート〉を設定します。

HTTP ポート	デフォルト値は 80 です。使用されていない HTTP ポート番号に変更できます。
HTTPS ポート	デフォルト値は 443 です。使用されていない HTTPS ポート番号に変更できます。
データポート	デフォルト値は 9008 です。必要に応じて変更してください。
RTSP ポート	デフォルト値は 554 です。必要に応じて変更してください。

3.4.3 サーバー設定

この機能は、主にネットワークビデオ管理システムの接続に使用されます。

- 1) 「設定」画面で[ネットワーク]→[サーバー]をクリックします。
「サーバー」画面が表示されます。

<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
サーバポート	<input type="text" value="2009"/>
サーバーアドレス	<input type="text"/>
デバイスID	<input type="text" value="1"/>

- 2) 〈有効〉にチェックマークを入れます。
- 3) ECMS/NVMS の転送メディアサーバーの IP アドレスと自動レポートポートを確認します。
- 4) ECMS/NVMS に新しいデバイスを追加するとき、自動レポートを有効にします。
- 5) デバイスの残りの情報を ECMS/NVMS に入力します。
- 6) システムはデバイス ID を自動的に割り当てて表示します。ECMS/NVMS で確認してください。
- 7) 上記のサーバーアドレス、サーバーポート、デバイス ID を「サーバー」画面で入力します。
- 8) 〈有効〉にチェックマークを入れます。

3.4.4 DDNS

DDNS を設定する前に、DDNS サーバーにドメイン名が登録されていることを確認してください。

- 1) 「設定」画面で[ネットワーク]→[DDNS]をクリックします。
「DDNS」画面が表示されます。

● DDNS 設定の例: www.dvrdyndns.com をサーバーとした場合

- 1) ブラウザーのアドレスバーに www.dvrdyndns.com を入力し、DDNS ウェブサイトにアクセスします。
- 2) [登録]をクリックします。

- 3) DDNS のアカウント情報(ユーザー名、パスワードなど)を入力して[Submit]をクリックします。
- 4) ドメイン名を作成し、[Request Domain]をクリックします。

- 5) ドメイン名を要求すると、ドメイン名の情報が表示されます。

- 6) 「DDNS」画面で<有効>にチェックマークを入れ、<サーバータイプ>に www.dvrdyndns.com を入力します。
- 7) 登録したユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力します。

3.4.5 RTSP

- 1) 「設定」画面で[ネットワーク]→[RTSP]をクリックします。
「RTSP」画面が表示されます。

<input checked="" type="checkbox"/> 有効			
ポート	<input type="text" value="554"/>		
アドレス	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile1"/>		
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile2"/>		
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile3"/>		
マルチキャストアドレス			
第1ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.0"/>	<input type="text" value="50554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
第2ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.1"/>	<input type="text" value="51554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
第3ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.2"/>	<input type="text" value="52554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
音声	<input type="text" value="239.0.0.3"/>	<input type="text" value="53554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
<input type="checkbox"/> 匿名ログインを許可 (ユーザー名およびパスワード不要)			

- 2) 〈有効〉にチェックマークを入れます。
- 3) 必要に応じて〈ポート〉、〈アドレス〉などを設定します。

ポート	ストリーミングメディアのアクセスポート。デフォルトのポート番号は 554 です。
アドレス	メディアプレーヤーに入力する必要がある RTSP アドレス(ユニキャスト)を表示します。
マルチキャストアドレス	RTSP アドレス(マルチキャスト)の例 第 1 ストリーム rtsp:// IP アドレス:rtsp port/profile1 ?transportmode = mcast 第 2 ストリーム rtsp:// IP アドレス:rtsp port/profile2 ?transportmode = mcast 第 3 ストリーム rtsp:// IP アドレス:rtsp port/profile3 ?transportmode = mcast
音声	VLC プレーヤーで第 1 ストリーム/第 2 ストリームを入力すると、映像と音声自動的に再生されます。
匿名ログインを許可	チェックマークを入れて有効にすると、VLC プレーヤーでユーザー名とパスワードを入力する必要がなくなります。

注意:

- このカメラは、VLC プレーヤーを介したローカルプレイをサポートしています。VLC プレーヤーに RTSP アドレス (ユニキャストまたはマルチキャスト、たとえば rtsp://192.168.226.201:554 / profile1 ? transportmode = mcast)を入力して、Web クライアントとの同時プレイを実現できます。
- 上記の IP アドレスを IPV6 のアドレスにすることはできません。
- 同じローカルネットワークで同じマルチキャストアドレスを使用しないでください。
- VLC プレーヤーでマルチキャストストリームを介してビデオを再生する場合、VLC プレーヤーのモードに注意してください。TCP モードに設定されている場合、ビデオは再生できません。
- メインストリーム(第 1 ストリーム)のビデオのコーディング形式が MJPEG の場合、一部の解像度でビデオが乱れることがあります。

3.4.6 UPnP

この機能を有効にすると、ポートマッピングの設定なしでルーター経由の WAN に接続し、ブラウザでカメラに簡単にアクセスできます。

- 1) 「設定」画面で[ネットワーク]→[UPnP]をクリックします。
「UPnP」画面が表示されます。
- 2) 〈有効〉にチェックマークを入れ、〈UPnP 名〉を入力します。

ポート サーバー DDNS 802.1X RTSP **UPnP** Email QoS

☒ 有効

UPnP名

3.4.7 Eメール

「アラームが発生したとき」または「IP アドレスを変更したとき」のメール送信に必要な情報を設定します。

- 1) 「設定」画面で[ネットワーク]→[Email]をクリックします。
「Email」画面が表示されます。

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP **Email** FTP HTTPS QoS

送信者

送信者アドレス

ユーザー名

パスワード

サーバアドレス

安全な接続

不要

SMTPポート

25

デフォルト

☐ 送信間隔(S)

60

(10-3600)

クリア

テスト

受信者

受信者アドレス

追加

削除

保存

- 2) 〈送信者〉を設定します。

送信者アドレス	送信者の E メールアドレスを入力します。
ユーザー名	送信者のユーザー名を入力します。
パスワード	送信者のパスワードを入力します。
サーバアドレス	SMTP の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
安全な接続	暗号化プロトコルを選択します。
SMTP ポート	SMTP ポートを入力します。
送信間隔	E メールを送信する時間間隔を設定します。 60 秒に設定した場合、複数のアラームが 60 秒以内に出力されると 1 つのアラームとみなされ、1 通の E メールが送信されます。1 つのアラームが出力され 60 秒後に別のアラームが出力されると、E メールは個別に送信(合計 2 通)されます。また、「動体検知アラーム」と「他のアラーム(SD カードフルなど)」が同時に出力されると、E メールは個別に送信(合計 2 通)されます。

27

- 3) [テスト]をクリックすると、送信者アドレスの有効性をテストします。
- 4) 〈受信者〉を設定します。
 受信者アドレス:受信者の E メールアドレスを入力します。
 [追加]をクリックすると、リストに追加されます。
 リストの受信者アドレスを選択して[削除]をクリックすると、リストから削除されます。

3.4.8 FTP[対象モデル:4MP/8MP]

「アラームが発生したとき」または「IP アドレスを変更したとき」の FTP ファイル転送に必要な情報を設定します。

- 1) 「設定」画面で[ネットワーク]→[FTP]をクリックします。
 「FTP」画面が表示されます。

- 2) [追加]をクリックして、「FTP を追加」画面で FTP サーバーの情報を設定します。

サーバー名	FTP サーバーの名前を入力します。
サーバーアドレス	FTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
パス	ファイルをアップロードするパスを入力します。
ポート	FTP サーバーのポート番号を入力します。
ユーザー名	FTP サーバーのログイン時に使用するユーザー名を入力します。〈匿名〉にチェックマークを入れるとユーザー名とパスワードの入力を省きます。
パスワード	FTP サーバーのログイン時に使用するパスワードを入力します。

- 3) [OK]をクリックします。FTP サーバーが追加されます。
- 4) リストの FTP サーバーを選択して[テスト]をクリックすると、FTP サーバーとの接続確認を行います。
 リストの FTP サーバーを選択して[変更]をクリックすると、FTP サーバーの設定を変更できます。
 リストの FTP サーバーを選択して[削除]をクリックすると、FTP サーバーを削除します。

3.4.9 HTTPS[対象モデル:2MP/8MP]

この機能は、証明書を提供しユーザーのプライバシーを保護します。

- 1) 「設定」画面で[ネットワーク]→[HTTPS]をクリックします。
「HTTPS」画面が表示されます。

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP **HTTPS** QoS

☒ 有効

証明書のインストール C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftware, OU=IPC, H=localhost, E=com.cn, 発行者: C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftware, OU=IPC, H=localhost, E=com.cn, 有効期限: 2017-07-26 01:02:07 ~ 2022-07-26 01:02:07 削除

属性

保存

- 2) 「有効」にチェックマークを入れます。

デフォルトで証明書がインストールされています。

ブラウザから https ポートでカメラにアクセスできます(例:https://192.168.226.201:443)。

デフォルトの証明書を使用しない場合は、[削除]をクリックしてデフォルトの証明書を削除し、プライベート証明書を作成します。

- 3) 署名された証明書がある場合は、「証明書に署名して、直接インストールしてください」を選択してインストールします。

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP **HTTPS** QoS

☐ 有効

インストールタイプ ☒ 証明書に署名して、直接インストールしてください ☐ プライベート証明書を作成する ☐ 証明書要求の作成

証明書インストールする 保存先変更 インストール

保存

- 4) プライベート証明書を作成する場合は、「プライベート証明書を作成する」を選択して[作成]をクリックします。

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP **HTTPS** QoS

☐ 有効

インストールタイプ ☐ 証明書に署名して、直接インストールしてください ☒ プライベート証明書を作成する ☐ 証明書要求の作成

プライベート証明書を作成する 作成

保存

- 5) 「国」、「ドメイン」、「有効期限」、「パスワード」などを入力し、[OK]をクリックします。

プライベート証明書を作成する

国 * []

ドメイン * []

有効期限 * [] 日

パスワード []

州/州 []

領域 []

組織 []

単位 []

Eメール []

OK キャンセル

- 6) 証明書の署名を申請する場合は、〈証明書要求を作成する〉を選択して[作成]をクリックします。

「証明書要求」を信頼できる認証局に署名のために送信します。署名された証明書を受け取ったらデバイスにインストールします。

3.4.10 QoS

この機能は、さまざまなネットワークアプリケーションにさまざまな Qos(Quality of Service)を提供します。ネットワーク遅延やネットワーク混雑を改善するために、それぞれのストリームの優先度にしたいが転送します。

- 1) 「設定」画面で[ネットワーク]→[QoS]をクリックします。「QoS」画面が表示されます。

- 2) 各ストリームの優先度を設定します。数値が大きいほど、優先度が高くなります。

ビデオ/オーディオ DSCP	0～63 の範囲で優先度を設定します。
アラーム DSCP	0～63 の範囲で優先度を設定します。
マネージャ DSCP	0～63 の範囲で優先度を設定します。

3.5 セキュリティ設定

3.5.1 ユーザー設定

- 1) 「設定」画面で[セキュリティ設定]→[ユーザー]をクリックします。「ユーザー」画面が表示されます。

追加する 変更 削除			
Index	ユーザー名	ユーザータイプ	バインドMAC
1	admin	管理者	

● ユーザーを追加する

- 1) [追加する]をクリックします。
「ユーザーの追加」画面が表示されます。

ユーザーの追加

ユーザー名

パスワード

レベル

passwordLowTip

パスワード確認

ユーザー区分

管理者

MAC結合

00:00:00:00:00:00

☐

OK

キャンセル

- 2) 〈ユーザー名〉、〈パスワード〉、〈パスワード確認〉を入力します。
- 3) 〈ユーザー区分〉を選択します。
管理者にはすべての権限があります。
ノーマルユーザーはライブ映像のみを表示できます。
管理者と比較して上級ユーザーは「ユーザーの設定」、「設定のバックアップ」、「工場出荷時に復元」、「アップグレード」ができません。
- 4) 〈MAC 結合〉にチェックマークを入れて、接続している Windows パソコンの MAC アドレスを入力します。
MAC アドレスをデバイスに関連付けると、固有の Windows パソコンでのみデバイスにアクセスできます。
MAC アドレスが「00:00:00:00:00:00」の場合、どの Windows パソコンにも接続できることを意味します。
- 5) [OK]をクリックします。設定したユーザーがリストに表示されます。

● ユーザーの変更

- 1) 「ユーザー」画面のリストでユーザーを選択し「変更」をクリックします。
- 2) 「ユーザー編集」画面が表示されます。
- 3) 〈パスワードを修正する〉にチェックマークを入れます。
- 4) 〈以前のパスワード〉、〈新しいパスワード〉を入力します。必要に応じて〈バインド MAC〉で MAC アドレスを入力します。
- 5) [OK]をクリックします。



注意:

ユーザーの「ユーザータイプ」を変更する場合は、ユーザーを削除して新しい「ユーザータイプ」で再度追加する必要があります。

● ユーザーの削除

- 1) 「ユーザー」画面のリストでユーザーを選択し「削除」をクリックします。ユーザーが削除されます。

注意:

デフォルトの管理者は削除できません。

3.5.2 オンラインユーザー

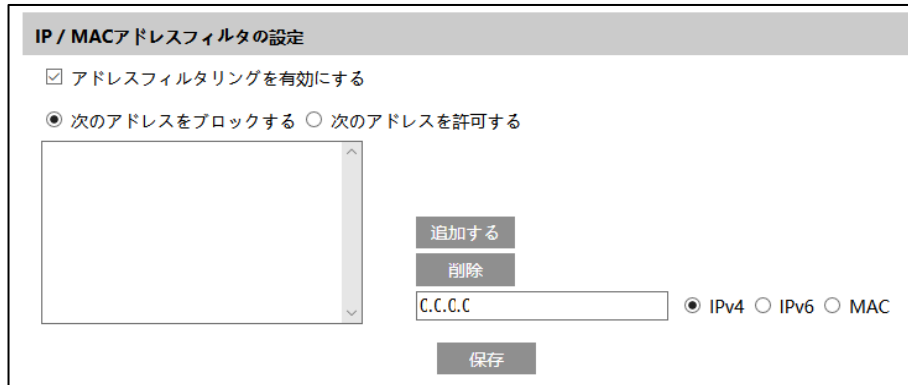
- 1) 「設定」画面で[セキュリティ設定]→[オンラインユーザー]をクリックします。「オンラインユーザー」画面のリストにライブ映像を表示しているユーザーが表示されます。

Index	クライアントアドレス	ポート	ユーザー名	ユーザー区分	
1	192.168.1.41	48845	admin	管理者	キックアウト

デフォルトの管理者ユーザーは、他のすべてのユーザー（他の管理者を含む）を退出させることができます。

3.5.3 ブロックリストと許可リスト

- 1) 「設定」画面で[セキュリティ設定]→[ブロックと許可リスト]をクリックします。「ブロックと許可リスト」画面が表示されます。



● IP/MAC アドレスフィルタの追加

- 1) 〈アドレスフィルタリングを有効にする〉にチェックマークを入れます。
- 2) 〈次のアドレスをブロックする〉または〈次のアドレスを許可する〉を選択します。
- 3) 〈IPv4〉、〈IPv6〉、〈MAC〉のいずれかを選択し、アドレスを入力します。
- 4) [追加する]をクリックすると、リストに表示されます。

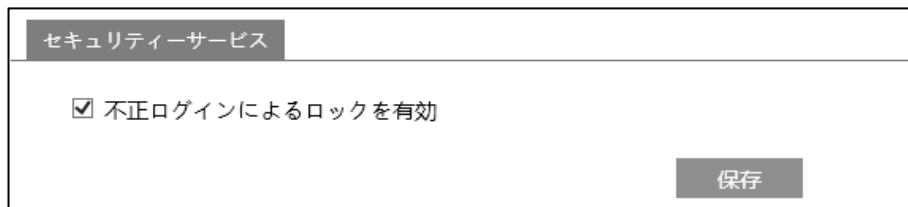
● IP/MAC アドレスフィルタの削除

- 1) リストで削除するアドレスを選択します。
- 2) [削除]をクリックします。

3.5.4 セキュリティー管理[対象モデル:2MP/8MP]

この機能は、悪意のあるパスワードのロック解除を防止します。

- 1) 「設定」画面で[セキュリティ設定]→[セキュリティー管理]をクリックします。「セキュリティー管理」画面が表示されます。



- 2) 〈不正ログインによるロックを有効〉にチェックマークを入れます。
ログインに 6 回失敗すると、ログイン画面がロックされます。
カメラは、30 分後またはカメラの再起動後にログイン画面のロックが解除されます。

3.6 メンテナンス設定

3.6.1 バックアップと復元

- 1) 「設定」画面で[メンテナンス]→[バックアップと復元]をクリックします。
「バックアップと復元」画面が表示されます。

● 設定のインポート

バックアップファイルを Windows パソコンまたはデバイスにインポートして復元します。

- 1) 〈設定のインポート〉で、〈パス〉の[参照]をクリックします。
- 2) バックアップファイルを選択して、[設定のインポート]をクリックします。

● 設定のエクスポート

バックアップファイルを Windows パソコンまたはデバイスにエクスポートします。

- 1) 〈設定のエクスポート〉で、[設定のエクスポート]をクリックします。

● 設定を初期化する

一部の設定を保持したまま、残りの設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

- 1) 〈設定を保持〉で、保持したい設定にチェックマークを入れます。
- 2) [工場出荷時設定に戻す]をクリックします。

3.6.2 再起動

- 1) 「設定」画面で[メンテナンス]→[再起動]をクリックします。「再起動」画面が表示されます。



再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動すると、ブラウザは自動的に再接続します。

定刻自動再起動

☒ 時刻の設定

週 毎日 ▼

時間 15:07

保存

- 2) [再起動]をクリックします。再起動には 1～5 分かかります。正常に起動するとカメラに再接続されログイン画面が表示されます。

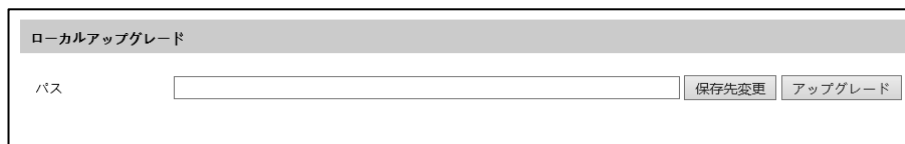
● 定期的な自動再起動の設定

設定した日時で定期的に再起動を行います。

- 1) 〈時刻の設定〉にチェックマークを入れます。
- 2) 〈週〉、〈時間〉を設定します。

3.6.3 アップグレード

- 1) 「設定」画面で[メンテナンス]→[アップグレード]をクリックします。「アップグレード」画面が表示されます。



ローカルアップグレード

パス

- 2) 〈パス〉の[保存先変更]をクリックして、アップグレードファイルの保存先を選択します。
- 3) [アップグレード]をクリックします。アップグレードが開始され、デバイスは自動的に再起動します。
- 4) アップグレードが正常に終了したらブラウザを閉じて、再度カメラに接続します。

注意:

アップグレード中に Windows パソコンとカメラの接続を切断したり、ブラウザのカメラ接続画面を閉じたりしないでください。

3.6.4 操作ログ

- 1) 「設定」画面で[メンテナンス]→[操作ログ]をクリックします。「操作ログ」画面が表示されます。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 操作ログ

第一区分 第二区分

開始時間 終了時間

Index	時間	第一区分	第二区分	ユーザー名	ログインIP
1	2021-12-15 11:44:51	操作	ユーザー設定変更		
2	2021-12-15 11:10:23	操作	ログアウト	admin	192.168.1.52
3	2021-12-15 11:09:50	操作	ログイン	admin	192.168.1.52
4	2021-12-15 09:11:04	操作	ログアウト	admin	192.168.1.129
5	2021-12-15 09:08:21	操作	ログイン	admin	192.168.1.129

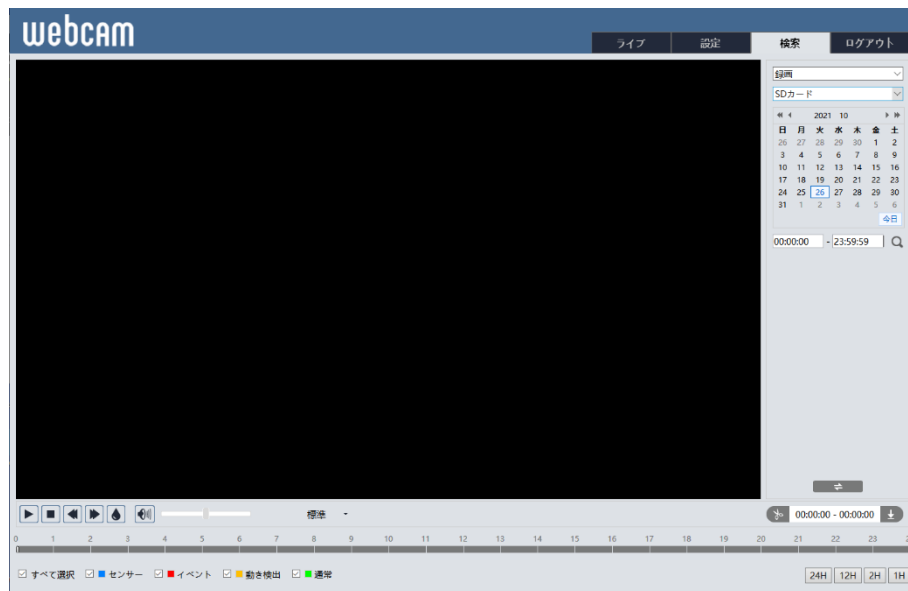
- 2) 〈第一区分〉、〈第二区分〉、〈開始時間〉、〈終了時間〉を設定します。
- 3) [検索]をクリックします。操作ログが表示されます。
- 4) [エクスポート]をクリックすると、操作ログをエクスポートできます。

4 検索


注意：
接続したカメラにより表示されるメニューの表記が異なります。

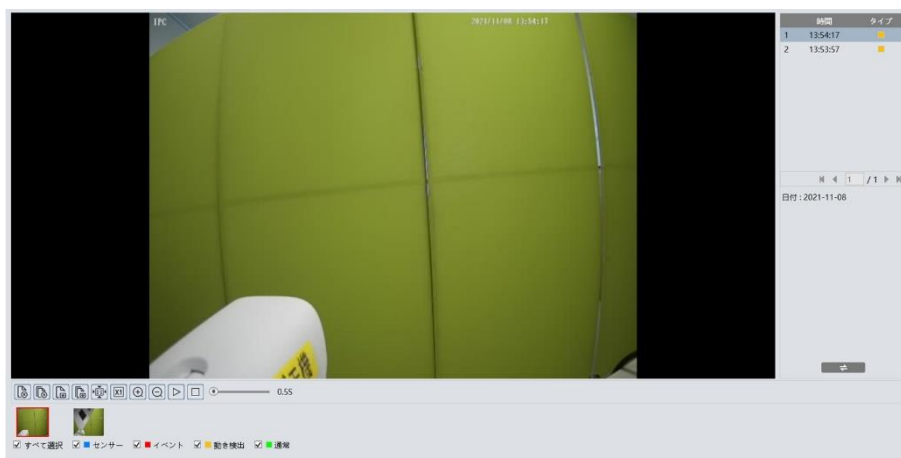
4.1 画像検索


- 1) 画面上の[検索]タブをクリックします。「検索」画面が表示されます。



● ローカル画像検索

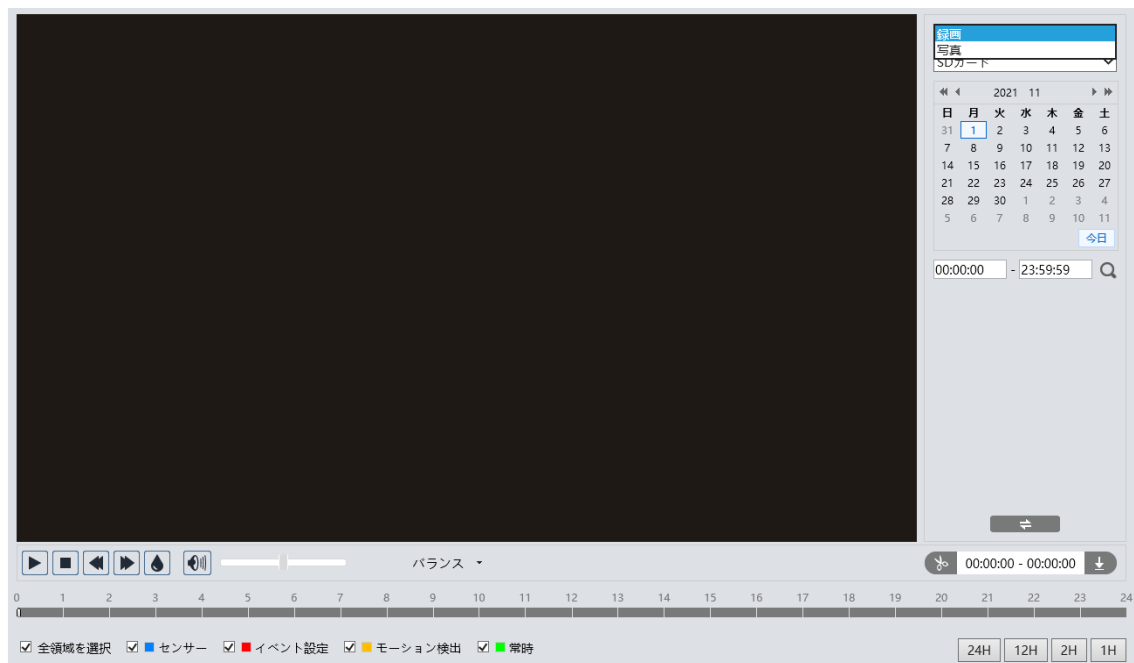
- 1) 画面右上で[写真]と[ローカル]を選択します。
- 2) 検索する「日付」と「開始時間/終了時間」を設定します。
- 3)  をクリックします。検索された画像がリストに表示されます。
- 4) リストの画像ファイルをダブルクリックします。画像が表示されます。




- 5)  をクリックします。元の画面に戻ります。

● SD カードの画像検索

1) 画面右上で[写真]と[SD カード]を選択します。











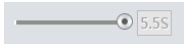


2) 検索する「日付」と「開始時間/終了時間」を設定します。

3)  をクリックします。検索された画像がリストに表示されます。

4) リストの画像ファイルをダブルクリックします。画像が表示されます。

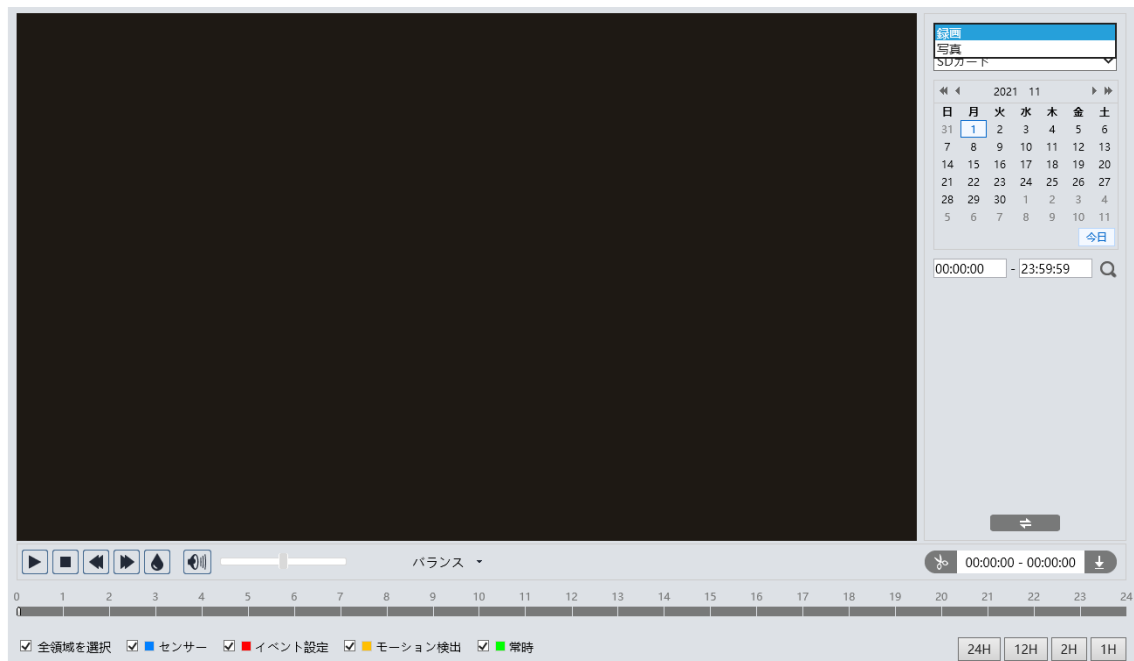
● 画像表示画面のボタンについて


アイコン	説明	アイコン	説明
	現在の画像を閉じます。		すべての画像を閉じます。
	現在の画像を、選択した保存先に保存します。		すべての画像を、選択した保存先に保存します。
	画面サイズに画像を調節します。		実際の画像サイズで表示します。
	画像を拡大(ズームイン)します。		画像を縮小(ズームアウト)します。
	画像をスライドショーで再生します。		スライドショーを停止します。
	スライドショーの再生速度を調節します。		

4.2 録画検索

4.2.1 ローカルの録画検索

- 1) 画面右上で[録画]と[ローカル]を選択します。



- 2) 検索する「日付」と「開始時間/終了時間」を設定します。
- 3)  をクリックします。検索された録画ファイルがリストに表示されます。
- 4) リストの録画ファイルをダブルクリックします。録画ファイルが再生されます。

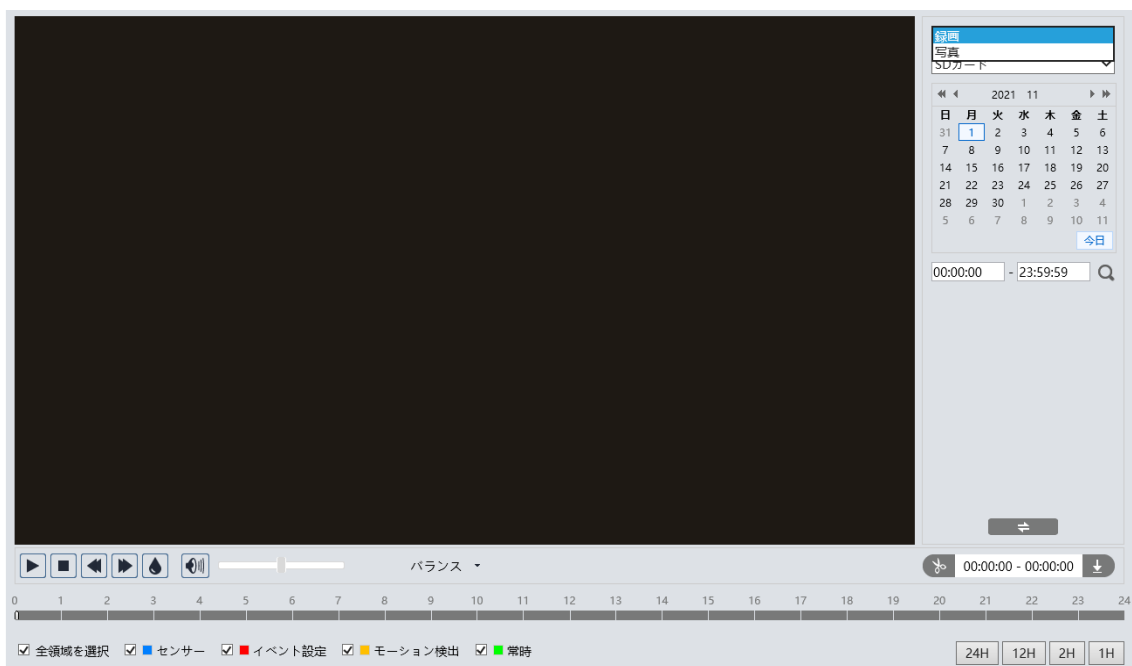



● 録画再生画面のボタンについて

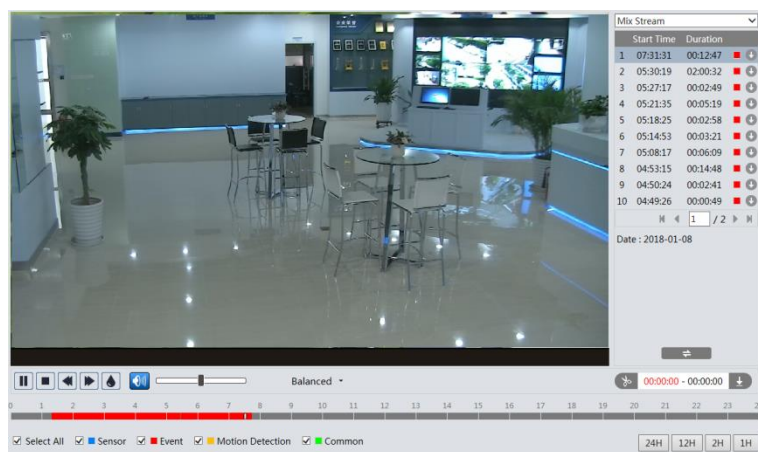
アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
	一時停止ボタン		巻き戻し		音声の有効/無効ボタン 音量の調節スライダー
	停止ボタン		早送り		
	再生ボタン		ウォーターマーク表示		

4.2.2 SD カードの録画検索

- 1) 画面右上で[録画]と[SD カード]を選択します。






- 2) 検索する「日付」と「開始時間/終了時間」を設定します。
- 3)  をクリックします。検索された録画ファイルがリストに表示されます。
- 4) リストの録画ファイルをダブルクリックします。録画ファイルが再生されます。




タイムスケールは、画面右下の対応するボタンをクリックして、24H/12H/2H/1H 形式で表示できます。

1) 「4.2 録画検索」の操作手順で録画ファイルを検索し、選択します。

3)  をクリックすると開始時間が設定され、このボタンが青()に変わります。

5)  をクリックすると終了時間が設定されます。

6)  をクリックします。

7) 録画ファイルの切り取り部分がダウンロードされます。

Index	進捗	録画タイプ	開始時間	終了時間	パス	操作
1	100%	カット	2021-11-08 13:53:58	2021-11-08 13:54:20	NetIPCcamera	オープン

設定

C:\Program Files\NetIPCcamera

リストクリア

閉じる

設置	切り取った録画ファイルの保存先を設定します。
オープン	ダウンロードした録画ファイルを再生します。
リストア	ダウンロードリストをクリアします。
閉じる	ダウンロード画面を閉じます。

5 付録

5.1 トラブルシューティング

Q:パスワードを確認するにはどうすればいいですか？

A:デバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。リセットボタンのないカメラの場合は、IP ツールでリセットを行なってください。

デフォルト IP:192.168.226.201;ユーザー名:admin;パスワード:「123456」または「Secula123456!」

Q:IE ブラウザーで機器の接続に失敗します。

A:以下の4つの方法をお試しください。

- 1:ネットワークが正しく接続されていない可能性があります。ネットワーク接続を確認してください。
- 2:利用不可の IP アドレスが設定されている可能性があります。カメラの IP アドレスをリセットしてください。
- 3:Web ポート番号が変更されている可能性があります。ネットワーク管理をされている方に正しいポート番号をお尋ねください。
- 4:上記 1～3 でも解決しない場合は、IP ツールを使用してカメラを初期設定に戻してください。

ネットワークがうまく接続されていません。接続を確認し、正しく接続されていることを確認します。

Q:IP ツールでデバイスを検索できません。

A:Windows パソコンのウィルス対策ソフトが原因の場合があります。ウィルス対策ソフトを終了させ、再度デバイス検索を行なってください。

Q:音が聞こえません。

A:以下の2点をご確認ください。

- ①外部マイクが接続されていません。マイク内蔵モデルであるか、外部マイクが接続されているかをご確認ください。
- ②対応するチャンネルで音声機能が有効になっていません。この機能を有効にしてください。

Q:IE で ActiveX コントロールをダウンロードできません。

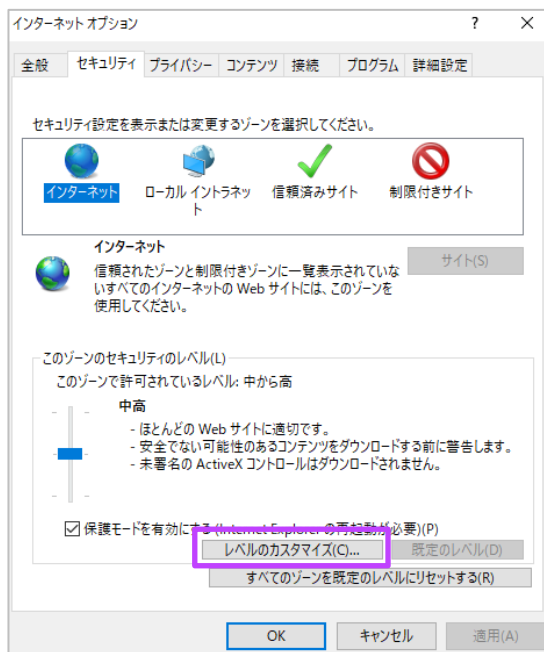
A:以下の2点をご確認ください。

- 1:IE ブラウザーが ActiveX をブロックしている可能性があります。以下の手順で確認してください。

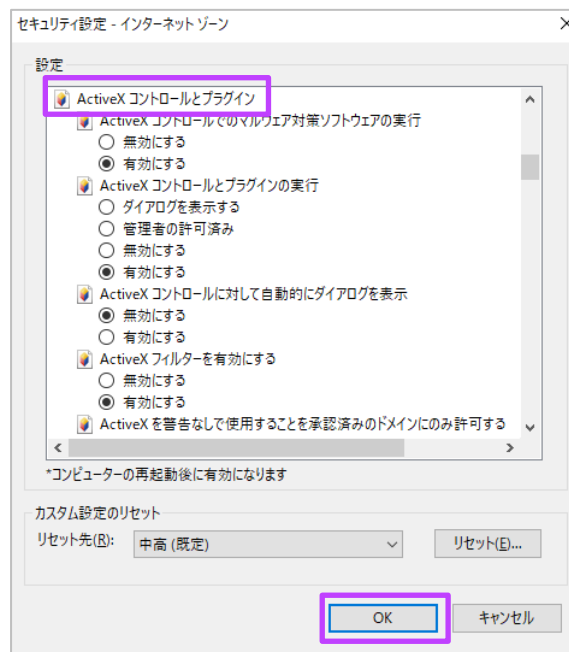
- 1) IE ブラウザーを起動し、[ツール]>[インターネットオプション]をクリックします。



2) [セキュリティ]タブ内の[レベルのカスタマイズ]を選択します。



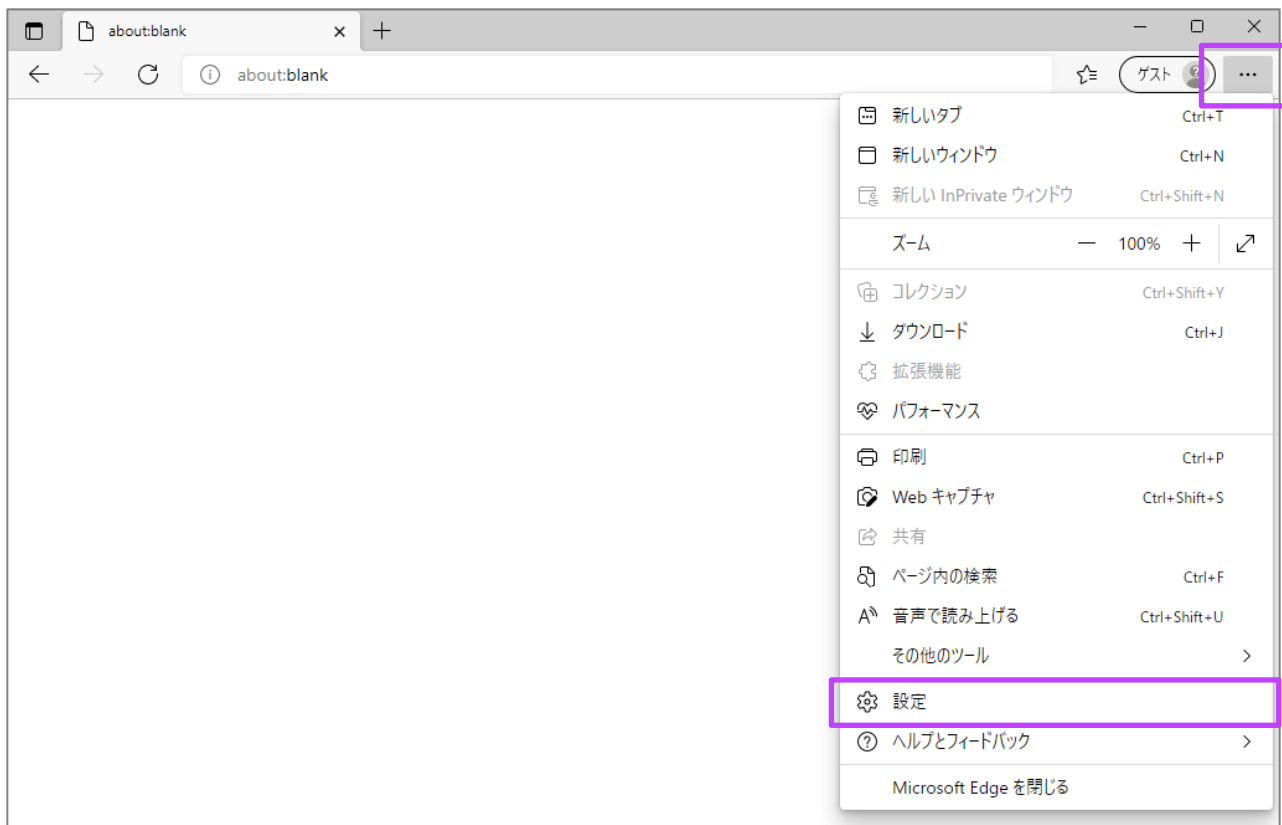
3) <ActiveX コントロールとプラグイン>の項目をすべて有効にし、[OK]をクリックします。



2:他のプラグインやウィルス対策ソフトが ActiveX をブロックしている可能性があります。該当プラグインやソフトをアンインストールまたは終了してください。

5.2 Microsoft Edge で利用する方法

- 1) 画面右上の[⋮]をクリックし、[設定]をクリックします。




- 2) 画面左部の[既定のブラウザー]をクリックします。
- 3) 画面右に表示された<Internet Explorer の互換性>内<Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可>で[許可]を選択します。
- 4) 下に表示された[再起動]をクリックし、Microsoft Edge ブラウザーを再起動します。



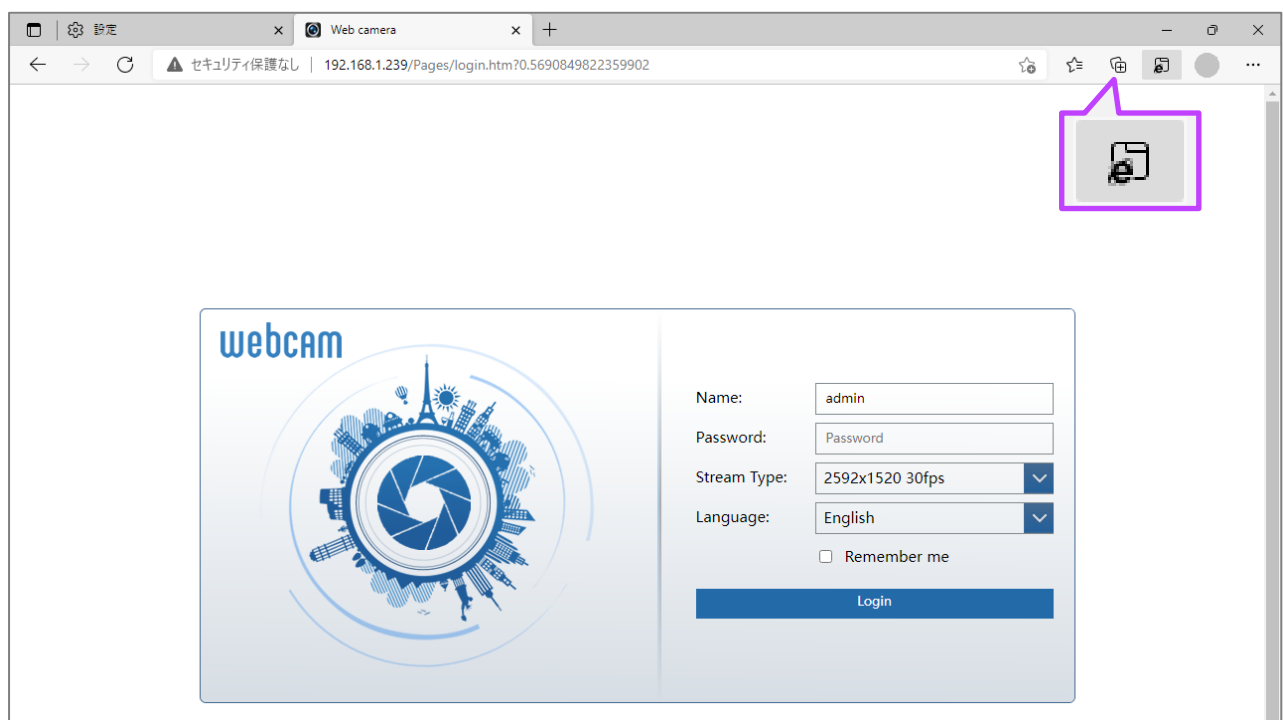
5) 画面左部の[外観]をクリックします。

6) 画面右に表示された<Internet Explorer モードボタン>を有効に切り替えます。



7) Secula IP カメラの WEB 設定を開き、画面右上の[] (IE モードボタン)]をクリックします。

8) ActiveX をインストールします。



以降、Secula IP カメラの WEB 設定を開いた際は、右上の IE モード

MEMO

❖ お問い合わせについて

Secula 製品ご購入後のご質問は下記にて対応しております。

- ※ 非正規出荷品(Secula シリーズ)以外の場合はお答えいたしかねますので、予めご了承ください。
- ※ 故障時の修理につきましては、お買い上げいただいた販売店様にお尋ねください。

▶ お客様サポートページ

<https://www.solidcamera.net/help/>

- ・ ソフトウェアまたは資料等のダウンロード
- ・ よくあるご質問



▶ お問い合わせ窓口

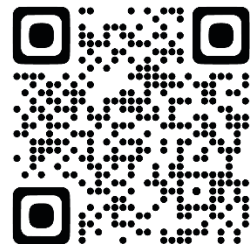
Secula 機器サポート専用ダイヤル

0120-223-323

音声ガイダンス②を押してください

受付時間: 9:00～12:00 / 13:00～18:00
(土日・祝日、夏期休暇・年末年始を除く)

お問い合わせフォーム QR





4 / 8 / 16 / 32 CH

IP ネットワークカメラ 取扱説明書

2024 年 2 月 5 日 第 3 版発行